

楽器資料館



楽器から世界が見える

Seeing the World Through Musical Instruments

■ アクセス



大阪音楽大学音楽博物館は2017年4月、大阪音楽大学P号館ホール（ミレニアムホール）の東に隣接した100周年記念館の3階に移転し、大阪音楽大学音楽メディアセンター楽器資料館として生まれ変わりました。

大阪音楽大学の教育施設の一環として、本学の授業や研究に教室として活用しています。



観覧料

一般	500円
高校生	400円
小学生・中学生	300円
未就学児	無料 保護者の同伴が必要です
幸楽会会員	300円
豊中市民（一般）	300円
豊中市民（高校生）	200円
豊中市民（小中学生）	100円

- ・ 介助の必要な方の同行介助者1名は無料です
- ・ 豊中市民の方は運転免許証、健康保険証などをご呈示ください
- ・ 本学在学生、本学教職員、付属音楽院会員は無料です
- ・ 本学在学生および教職員のご家族は無料です
- ・ 大阪音楽大学付属音楽幼稚園の保護者は無料です
- ・ 幸楽会会員ご家族は一般300円、高校生200円、小中学生100円です

■ 開館期間

月曜日・土曜日 10:00~16:00（祝日を除く）

本学創立記念日、および8月、年末年始は閉館です。
このほかにも臨時閉館することがありますので、詳細はお電話、ホームページ等でご確認のうえご来館ください。

大阪音楽大学音楽メディアセンター
楽器資料館

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8
大阪音楽大学K号館（100周年記念館）3階

TEL (06) 6335-5175
✉ museum1@daion.ac.jp
<http://www.daion.ac.jp/about/museum/>

楽器から世界が見える

所蔵楽器など約2000点のうち
1400点を常設展示しています



ヨーロッパの楽器展示は、クラシック音楽で使われてきた楽器をご覧ください。モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ショパン、リスト、ドビュッシーらが創作活動を行った時代様式の

オリジナル・ピアノを展示しています。

また、サントリー株式会社様から寄贈された弦楽器コレクションは、ストラディヴァーリ、ガルネーリなど著名な楽器製作者の楽器が含まれ、海外にも知られるコレクションです。このほか、フルート、オーボエ、クラリネット、金管楽器などの変遷を知ることができる展示も興味を引くことでしょう。Aサックスが創始したオリジナルのサクソフォーンもご覧になれます。



世界各地の民族楽器は、そのかたち、素材、装飾を楽しむとともに、現在使われている楽器のルーツに思いを馳せることができます。



楽器に関する書籍も閲覧できます。



日本の伝統音楽は大阪、奈良、京都を中心に日本各地へ広がりました。数々の伝統音楽・芸能に用いられる楽器の展示は、わが国屈指の規模を誇ります。雅楽、能楽、琵琶、近世邦楽の箏、三味線、胡弓、尺八、また民俗芸能に用いる音具などを一堂に見ることができます。日本の伝統工芸である象嵌、螺鈿、蒔絵など楽器に施された精緻な装飾を楽しむこともできます。

大阪音楽大学建学の精神に基づき、日本の音楽文化資産を大阪の地から世界に発信してまいります。



展示コーナーには、創設者・永井幸次先生と、大学の歴史に関する資料を展示しています。